



Citrus
Ribbon
PROJECT

ちょっと
いいかい(医~介)

特集 シトラスリボン
プロジェクト INとちぎ

VOL.24



「ただいま」、「おかえり」と言いあえるまちへ

シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンを身に付けて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。3つの輪は「地域」「家庭」「職場（学校）」を意味しています。

みんなで広げようシトラスリボンプロジェクト

「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。

また、復帰した感染者や医療関係者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。

感染者が「出た」「出ない」ということ自体よりも、感染が確認された“その後”に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されます。

県内でもシトラスリボンプロジェクト INとちぎとして、プロジェクトの輪が広まってきています。



1 シトラスカラー(柑橘をイメージした色)のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。



2 その材料で「地域・家庭・職場(or学校)」などを示す「三つの輪」をつくれれば、「シトラスリボン」のできあがり。結び方は「飾り結び」「総角結び」などと呼ばれるものを参考に。



3 この「シトラスリボン」を身に着けたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。「元気ですか?」「また会いましょう!」のことばとともに贈りあうのもよいかもしれません。



4 リボンの画像をSNSで発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。
#ただいま #おかえり
#っていいあえるまちに
#citrusribbonfromehime



←シトラスリボンプロジェクトとシトラスリボンの作り方はコチラ



QRコードを読み取り
ご覧ください。

上記文章・図引用元：シトラスリボンプロジェクト様

シトラスリボンは市民課窓口と、喜連川市民生活室で配布しています。ご自由にお取りください。
※なくなり次第終了となりますのでご了承ください。